



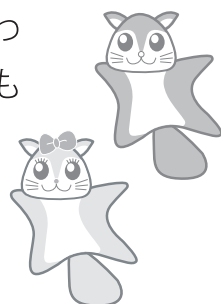
重症心身障害がある7歳のYくん。時々てんかんの症状があり、お母さんはYくんのそばを離れられません。身の回りのことをする余裕がないため、家のまわりの除雪を手伝ってほしいとお母さんから依頼をいただきました。

生活介護事業所の知的障がいがある利用者さんたちがスタッフと一緒にYくんのお宅を訪問し、定期的に除雪を行っています。夏は庭の除草、水やりのお手伝いを行っており、利用者さんたちも人の役に立っていることにやりがいを感じています。



札幌に引っ越してきた精神障がいがある50代の男性Mさんは自分で引越の荷物を片付けられずにいました。6畳の部屋に段ボール箱が山積みで窓が見えないほど。50代の女性、サポーターのTさんに荷物整理を手伝っていただきました。段ボール箱を開いて、必要なものとゴミに出すものを分けて行きます。

2日間かかって片付けが終わり、ゴミ袋の山にMさんもびっくり。「すごいゴミの量だなあ…」



知的障がいがあり、一人暮らしをしている60代の女性Sさん、いつも家に一人きりでいることが多く、寂しいので、話し相手を紹介してほしいと依頼をいただきました。

近所に住む同世代の女性、サポーターのTさんに訪問してもらい、毎回1~2時間、いっしょに過ごしています。すっかり仲良しになって、手芸が得意なSさんがTさんに編み物を教えてあげているそうです。



視覚障がいがある30代女性のSさんは二人の子を持つお母さん。週1回、定年退職をした60代の男性サポーターのYさんがお子さん二人の保育園の迎えを手伝ってくれています。子どもが大好きなYさん、家まで二人を送り届けた後、いっしょに絵本を読んだり、字を書く練習をしたり…「まだ孫がないのだけれど、一足早く、孫ができたみたいだよ」と笑顔で話してくれました。



お問い合わせ先

**地域めぐもりサポートセンター**  
札幌市中央区南9条西13丁目1-40  
社会福祉法人あむ法人事務局内  
電話・FAX 011-206-6511  
Email nukumori@amu.or.jp